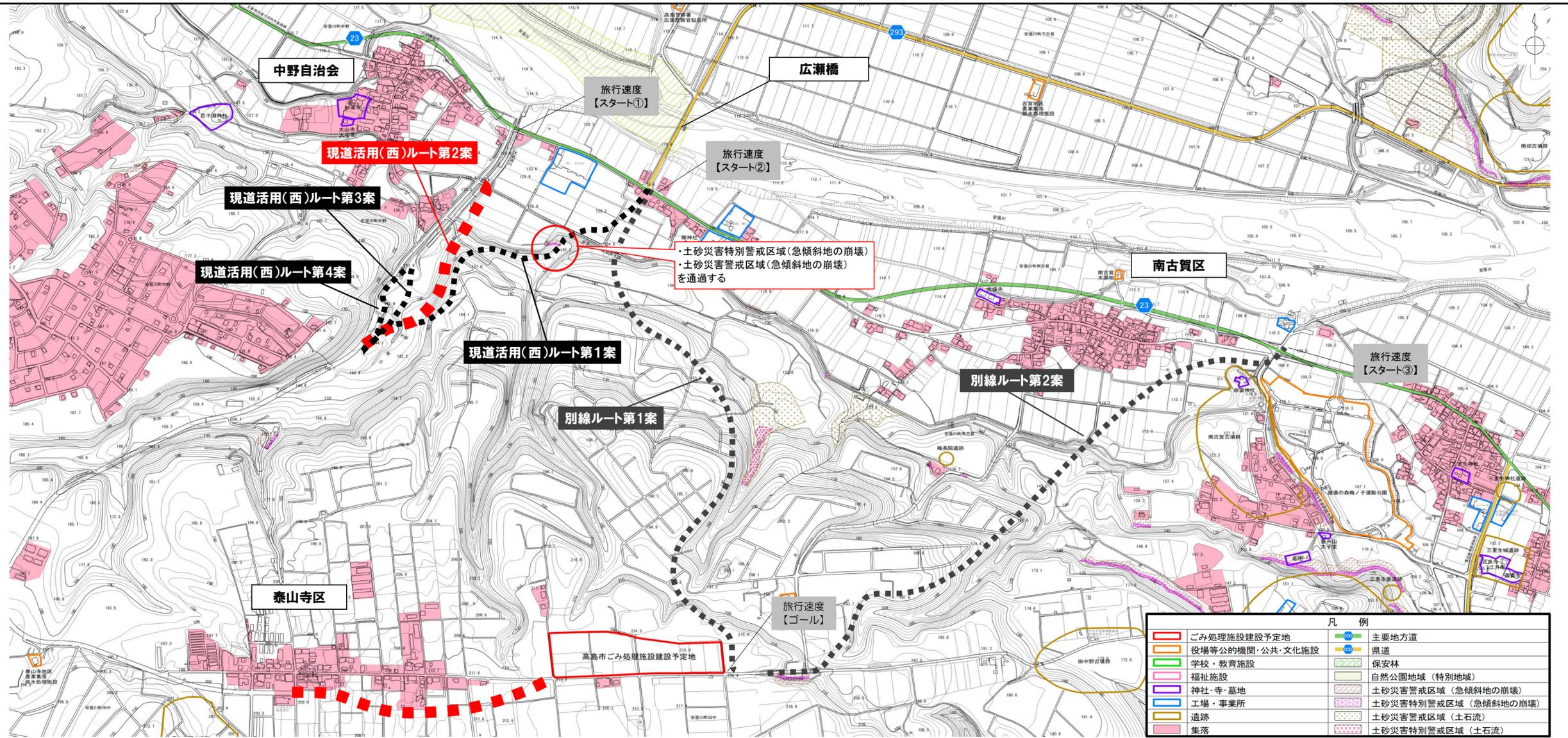


■新ごみ処理施設の搬入道路の決定について（比較検討結果）

比較ルート平面図



案名		現道活用(西)ルート第1案	現道活用(西)ルート第2案	現道活用(西)ルート第3案	現道活用(西)ルート第4案	別線ルート第1案	別線ルート第2案
ルート帯の概要		現道の幅員不足箇所を回避するため、広瀬橋から南下し、大筑波川を橋梁により渡河した後、現道に接続する案	現道の幅員不足箇所を回避するため、現況の橋にて大筑波川を渡河する案	現道の幅員不足箇所を回避するため、大筑波川側へ極力小さく迂回する案	現道の幅員不足箇所を回避するため、山側へ極力小さく迂回する案	広瀬橋から南下し、山頂を避け、ごみ処理施設建設予定地に接続する案	主要地方道小浜朽木高島線の現況交差点から南西方面を通過し、ごみ処理施設建設予定地に接続する案
道路構造	整備延長	総延長：L=1.607km (0.904km+泰山寺工区0.703km) (土工：1.592km、橋梁0.015km)	総延長：L=1.260km (0.557km+泰山寺工区0.703km) (土工：1.232km、橋梁0.028km)	総延長：L=0.903km (0.200km+泰山寺工区0.703km) (土工：0.879km、橋梁0.024km)	総延長：L=0.893km (0.190km+泰山寺工区0.703km) (土工：0.893km、橋梁0.000km)	総延長：L=1.490km (全て土工)	総延長：L=1.586km (全て土工)
	線形	平面線形Rmin=100m	平面線形Rmin=100m ※終点部橋梁接続箇所はR=20m	平面線形Rmin=100m	平面線形Rmin=100m	平面線形Rmin=100m 縦断線形imax=7.26% (特例値)	平面線形Rmin=100m 縦断線形imax=8% (特例値)
速達性	旅行速度 (設計速度)	約5分15秒 スタート②-ごみ処理場建設予定地	約5分00秒 スタート①-ごみ処理場建設予定地	約4分55秒 スタート①-ごみ処理場建設予定地	約4分55秒 スタート①-ごみ処理場建設予定地	約2分15秒 スタート②-ごみ処理場建設予定地	約2分20秒 スタート③-ごみ処理場建設予定地
評価項目							
①施工性	概算工期等	・最も延長が長く、切土量も多いことから、施工期間は最も長くなる ※約2年2カ月(参考)	・橋梁区間が2か所あり、工事期間は非出水期(11月～3月)となり、第4案に比べ長くなる ※約2年1カ月(参考)	・橋梁区間が2か所あり、工事期間は非出水期(11月～3月)となり、第4案に比べ長くなる ※約1年11カ月(参考)	・最も延長が短く、土工区間のみであることから、施工期間は最も短くなる ※約1年5カ月(参考)	・第2案に比べ、延長が短く、切土量も少ないことから、施工期間は短くなる ※約2年(参考)	・第1案に比べ、延長が長く、切土量も多いことから、施工期間は長くなる ※約2年1カ月(参考)
②生活環境への影響	沿道住居等数、新設ルートとの取付	15件 県道との交差	13件 市道との交差 (付け替え)	16件 市道との交差 (付け替え)	16件 市道との交差 (拡幅)	2件 県道との交差	0件 市道との交差
③自然環境への影響	切土による地形改変	切土量 V=44,155m ³	切土量 V=7,130m ³	切土量 V=23m ³	切土量 V=10,740m ³	切土量 V=128,355m ³	切土量 V=146,015m ³
④防災性	土砂災害危険箇所等	・土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)や土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)を通過する・砂防指定地(大筑波川)	・土砂災害危険箇所は通過しない ・砂防指定地(大筑波川) ・想定浸水深0.5m未満	・土砂災害危険箇所は通過しない ・砂防指定地(大筑波川)	・土砂災害危険箇所は通過しない ・砂防指定地(大筑波川)	・土砂災害危険箇所は通過しない ・想定浸水深0.5m未満	・土砂災害危険箇所は通過しない ・想定浸水深0.5m未満
⑤経済性 (概算事業費)	工事費	805 (百万円)	426 (百万円)	268 (百万円)	267 (百万円)	1,562 (百万円)	1,793 (百万円)
	用地補償費	96 (百万円)	34 (百万円)	21 (百万円)	25 (百万円)	122 (百万円)	101 (百万円)
	間接費	135 (百万円)	69 (百万円)	43 (百万円)	44 (百万円)	253 (百万円)	284 (百万円)
	合計	10 (億円)	5 (億円)	3 (億円)	3 (億円)	19 (億円)	22 (億円)
総合評価		7	17	16	16	7	9

評価(配点)：◎(優れる)4点、○(やや優れる)3点、▲(普通)2点、△(やや劣る)1点、×(劣る)0点 ①、②の評価項目は特に重要であるため、2倍の重みづけ